

医療福祉生協連の看護師求人サイト「CO-OP ナース」に掲載されている病院やそこに勤務する看護師の仕事を紹介します。

全国の看護師を応援！

CO-OP ナース



自慢のチームワークでみなさんを笑顔に！
富山医療生協 富山協立病院 療養病棟 看護師長 藤田聖子

富山協立病院は、1950年から

富山駅前診療所での活動を経て、1975年に現在の富山市北部に病院を開設しました。その後の施設展開で2つの診療所と、4つの在宅福祉総合センターで、急性から一般療養、在宅診療、医療・介護事業所のセンター病院としての役割を担っています。また、医師や看護師、医療スタッフの研修病院として、職員の教育・育成機関としても位置づけています。

175床、3病棟と透析センター、健康支援センター、外来、往診に看護職員97人は、「いのちの章典と患者中心の看護」をめざして実践しています。

私たちの西2階(医療療養)病棟は60床で、ほぼ満床状態で運用しています。ほとんどの患者さんが医療処置を要する人で、看護師とケアワーカーはそれぞれの役割を分担しながら、看護・介護目標に沿ったケアをおこなっています。

患者さんたちは、急性期を脱して、頻回な観察や処置が必要な人から、在宅(施設)の準備中の人まで、日常生活の大半に介助が必要です。ターミナルケア、認知症ケアも部署学習や技術研修などを繰り返して積

極的にとりこんでいます。

そんな私たちの自慢はチームワーク！ 昨年も恒例の病棟クリスマス会(12月2日)でその力を発揮しました。このクリスマス会は20年

来の歴史ある季節行事となっています。毎年来てくださる富山福音キリスト教会のみなさんによるお話と歌の披露。「12月25日はイエス・キリストが生まれた日。イエスさまは世界中の人々の幸せと平和を願っています。入院療養中のみなさまが、安心して穏やかに過ごされることを祈ります」と、小さな子どもさんを含む教会の方々が演劇でお話をしてくれました。

ほかの病棟の患者さんやご家族を合わせて40人余りが参加され、病棟スタッフのピアノ伴奏でみんなが合唱しました。手拍子や足踏みをしながら、感動して涙を流す患者さんもありました。クリスマス会の最後は病棟スタッフが一夜漬けで練習したハンドベル演奏で、大きな拍手をもらいました。音楽や歌で患者さんが笑顔になり、長期療養生活が少しでもほんわか温かい気持ちになって喜んでもらえることが、職員にとっても笑顔になれるひとときです。「今年もよいクリスマス会で、よかった」と、思ってもらえるクリスマス会を、職員一同、これからもずっと続けたいと心から思います。



患者さんと藤田聖子さん
(写真右)

医療福祉生協連の看護師求人サイト

CO-OP ナース

<http://nurse-coop.jp/>



北は北海道から南は沖縄まで42都道府県にある、106の医療福祉生協。75の病院、343の診療所、189の訪問看護ステーション、28の老人保健施設を展開し、約1万2500人の看護職員が勤めています(2017年3月末現在)。全国ネットワークを生かした豊富な求人サイトを、完全無料で利用できます。

このサイトに載っていない事業所でも、気軽にお問い合わせください。